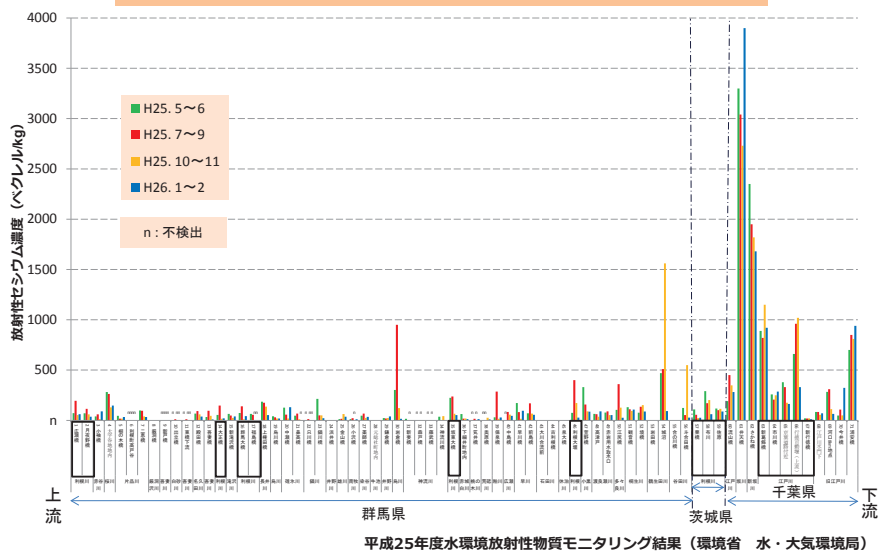


平成25年度 河川の底質の放射性セシウム濃度の推移（利根川水系）



河川の底質の放射性セシウム濃度の推移について、2013（平成25）年度も2011（平成23）年度、2012（平成24）年度に引き続いて調査が行われました。

利根川水系においては、千葉県で比較的高い放射性セシウム濃度が検出された地点が幾つか散見されましたが、群馬県、茨城県のほとんどの地点では500ベクレル/kg以下となっています。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2014年3月31日

：2015年3月31日

本情報は2013年の情報で、事故から現在に至る途中経過の情報です。

関連Q&A

- ・3章 QA1 モニタリングの実施状況について教えてください
- ・3章 QA2 セシウムをはじめとする放射性物質の汚染状況の調査はどうなっていますか
- ・3章 QA6 河川・湖沼のモニタリングの実施状況はどうなっているのですか
- ・3章 QA12 雨水や日常食のストロンチウム90やセシウム137はどのようにすれば測れるのですか
- ・3章 QA13 ストロンチウム90はどのように測定しているのか教えてください
- ・3章 QA21 昔の核実験でできた放射性物質が今も残っているというのは本当ですか
- ・3章 QA22 ストロンチウム90が、福島第一原発事故の前から日本にあったの本当ですか
- ・3章 QA23 1980年まで行われていた大気圏内核実験で生成したストロンチウム90やセシウム137が、現在でも一般の環境に残っているのは、なぜですか